

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見/事業所からのコメント
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	75	25		事業所より 子どもたちも大きく成長して手狭になってきたように我々も感じます。法令上のスペースはクリアしていますが、活動の幅を広げるために何が出来るか考え具体的な行動方針を立ててまいります。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	83.3	16.7		事業所より 専門知識を学び成長できるよう職員一同努めていきます。ご意見等ございましたら是非お聞かせください。 社内で共有し、具体的に改善策を立てていきます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	83.3	8.3	8.3	事業所より 法令上の必要なバリアフリーはされていますが、我々も不便さを感じております。 災害対策の観点も視野に入れ、建物について改善ができるよう検討や情報収集を行います。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	91.7		8.3	事業所より 個別支援計画の作成は全件漏れなく実施しております。分析について社内で学習を重ね、より専門的に分析ができるよう努めてまいります。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	75	16.7	8.3	事業所より ビジョントレーニングをA~Fで循環させ固定化しないように工夫しています。また、時期ごとに集団遊びの内容も子どもたちと相談し決定しています。 クッキングについては、積み重ねを重視して焼きそば作りを固定にしています。参加を続けている子たちは、手順が頭に入り、材料や調味料の取り扱いが速くなり、初め時間かかっていた調理が今で45分~1時間で完成できるようになりました。メニュー変更は子どもたちと相談して検討していきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	25	33.3	41.7	事業所より 前向きに検討しております。交流会について賛否のお声や、運営についてのご意見賜りたく、アンケートを作成しますので是非ご意見賜ればと思います。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	91.7	8.3		事業所より 利用者負担について：重要事項説明書をご確認ください。 ご不明な点がございましたらお気軽にお尋ねください。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	83.3	16.7		事業所より しっかり伝達ができるよう努めていきます。ご意見等ございましたら是非お聞かせください。 社内で共有し、具体的に改善策を立てていきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100			
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	16.7	50	33.3	事業所より 父母の会についてどのように運営していくかを現在調査中です。 皆様にもご意見賜りたく、アンケートを作成しますので是非ご意見賜ればと思います。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	83.3		16.7	事業所より いいえの回答が16.7%の結果を真摯に受け止め社内で改善を図りたいと思います。 改めて調査を行ってまいりますので、具体的な内容を調査時にお伺いし、事例ごとに改善策を立てて行動したいと考えています。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	91.7		8.3	事業所より 視覚支援やスケジュールを取り入れています。次年度はベクスのアプリを社内研修し使えるようにしていきたいと考えています。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	54.5	36.4	9.1	事業所より HPの定期的な更新が現在4半期に一度のペースになっています。 業務改善をしまして、定期的な更新を心がけてまいりたいと思います。
14 個人情報に十分注意しているか	100				
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	100			事業所より 年4回防災に係る研修や訓練をおこなっています。 予定表やイベント案内にてわかりやすく周知を行い、認知度を高めていきたいと思ます。 モニタリングでは南海トラフ想定地震発生時の想定すり合わせ訓練を実施しています。考える機会としてご活用いただければと思います。 内服のストックや食品のローリングストック、風呂の水をできるだけためておくなど工夫をすることや、避難場所の確認、snsが使えない場合貼り紙を玄関にしておくなど話題に出し共通認識していきます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	91.7		8.3	
満足	17 子どもは通所を楽しみにしているか	83.3		16.7	いつもありがとうございます 子どもが楽しんで行っていることが何より嬉しく思っています これからもよろしくお願ひします 事業所より

度	18	事業所の支援に満足しているか	83.3	16.7	こちらこそいつも事業所の療育活動にご理解ご協力を賜りありがとうございます。うれしいコメント賜りましてありがとうございました。引き続き、楽しみながら発達する機会提供や遊びの支援、専門家と連携したトレーニングを行ってまいります。
---	----	----------------	------	------	--

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されている。